

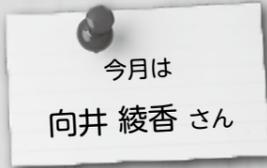
つむぐ通信

シリーズ連載 その112

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

【江田島市地域おこし協力隊】

国際交流支援員 大方 芳恵
観光事業総合プランナー 山田 京子
オーブブランドクリエイター 鉄増 千夏
里海コーディネーター 向井 綾香



facebookで情報を発信しています

江田島市地域おこし協力隊



夏本番 江田島市ならではの体験活動
「江田島市内の小中学生は学校の教育活動の一環として夏に海でサップやカヌーをしている」と話す、友人たちは驚きます。元々

この半年間は、里海コーディネーターとして市内の小中学校と連携し、「さとうみ学習」の推進に注力をしていました。市では「島の子の特権を教育に」をテーマに、海に関する地域資源を取り入れた授業を各学校で展開しています。学びを通して子どもたちが「海が好き」になり、ふるさとへの愛着や誇りを育むことを目的としています。
360度海に囲まれた江田島市では、古くから暮らしや営みと海が深く結びついてきました。かつては子どもたちにとって海は遊びや学びの場であり、日常的に楽しむ場所でした。しかし近年は、子どもたちと海との距離が少しずつ遠ざかっているのが現状です。そこで学校では、小学1年から中学3年までの9年間を通じて、さまざまな角度から海をテーマに学び、子どもたちはふるさととのつながりを深めています。私は里海コーディネーターとして、学校の取組を発信したり、先生方に向けてさとうみ学習について研修を行ったり、市内の事業者と連携をしながら、学習の広がりを支えています。

島の子の特権を教育に
この半年間は、里海コーディネーターとして市内の小中学校と連携し、「さとうみ学習」の推進に注力をしていました。市では「島の子の特権を教育に」をテーマに、海に関する地域資源を取り入れた授業を各学校で展開しています。学びを通して子どもたちが「海が好き」になり、ふるさとへの愛着や誇りを育むことを目的としています。
360度海に囲まれた江田島市では、古くから暮らしや営みと海が深く結びついてきました。かつては子どもたちにとって海は遊びや学びの場であり、日常的に楽しむ場所でした。しかし近年は、子どもたちと海との距離が少しずつ遠ざかっているのが現状です。そこで学校では、小学1年から中学3年までの9年間を通じて、さまざまな角度から海をテーマに学び、子どもたちはふるさととのつながりを深めています。私は里海コーディネーターとして、学校の取組を発信したり、先生方に向けてさとうみ学習について研修を行ったり、市内の事業者と連携をしながら、学習の広がりを支えています。

一部の愛好者や市外の観光者向けの体験でしたが、「地元のことどもたちにもっと気軽に楽しんで、海に親しみをもってほしい」という思いから、約10年前に一部の学校と事業者が協力して実施されるようになりました。海辺の清掃活動とあわせて実施され、いまでは市内すべての小中学校で夏の恒例の体験活動となっています。
インストラクターの指導もあり、安全に思いきり海を楽しむ姿が印象的でした。
このような体験をしたことどもたちが大人になったとき、友人を連れて江田島市でサップやカヌーを楽しんだり、自分の体験を伝えたりする未来を想像すると、とても楽しみです。サップやカヌーを通して海の楽しさを学ぶことができる江田島市だからこそ実現できる「さとうみ学習」の一つだと感じています。

同じく8月には市内児童生徒を対象に「え

8月には、市内小中学校の先生方を対象に「さとうみ学習研修」を開催しました。研修は三部構成で、海の産業に関する講義、能美町鹿川にある白地水産株式会社でのイワシ漁や工場見学、授業づくりワークショップと充実した内容でした。迫力ある漁や大規模な工場の見学を体感した先生方からは「地元への仕事を子どもたちに伝えたい」との声が寄せられました。ワークショップでは地域資源を活かした授業アイデアが次々と生まれ、「地元の良いことに気づけることを育てたい」といった感想もあり、今後の展開に期待が高まります。

未来へつなぐ江田島の海
先生と子どもたちの学びの場
8月には、市内小中学校の先生方を対象に「さとうみ学習研修」を開催しました。研修は三部構成で、海の産業に関する講義、能美町鹿川にある白地水産株式会社でのイワシ漁や工場見学、授業づくりワークショップと充実した内容でした。迫力ある漁や大規模な工場の見学を体感した先生方からは「地元への仕事を子どもたちに伝えたい」との声が寄せられました。ワークショップでは地域資源を活かした授業アイデアが次々と生まれ、「地元の良いことに気づけることを育てたい」といった感想もあり、今後の展開に期待が高まります。

活動を始めただけ半年ですが、「さとうみ学習」には、ことどもたちに「海を楽しむこと」や「海を知るおもしろさ」を知ってほしいという多くの方々の思いが込められていることを強く感じています。先生方、事業者、地域の皆さんと共に取り組むからこそ生まれる学びの場であり、江田島市ならではの教育だと思えます。これからも、ことどもたちが海やふるさとをもっと好きになれるよう、「さとうみ学習」の魅力を広げていきたいと考えています。



20,000人の思い出と感動が輝く！ 民泊の島 えたじま！

海洋科学高等学校のみなさま！ようこそ、えたじまへ！

平成24年に受入を開始した民泊事業も今年度ではや14年が経過し、この度、民泊体験の受入人数が9月16日～18日で来島した神奈川県立海洋科学高等学校の皆様で20,000人を突破！入島式でセレモニーを開催しました！

現在の江田島市の人口とほぼ同じ数の修学旅行生を受入れしてきたと思うと感慨深いものがあります。

これも受入に協力をいただいた家庭の皆様をはじめ、本事業に関わってきたすべての方のおかげです。

海洋科学高等学校は、今回が初めての体験民泊。船舶運航や生物環境等を学ぶ水産・海洋系の専門高校で、毎年海上自衛隊に就職する生徒もいます。豊かな海洋資源と海上自衛隊にゆかりのある本市との不思議な縁を感じました。

また、江田島市内のカキ養殖事業者で働きたいという生徒もあり、とても思い出深い学校となりました。



心とココロの交流



商工観光課
☎0823-43-1632

